

京都府笠置町において、「まるごとまちごとハザードマップ」 標識の除幕式を実施

～木津川の想定最大規模洪水による浸水深を掲示～



木津川上流河川事務所では、市町村等と連携して水防災意識社会の再構築に取り組んでおり、生活空間である“まちなか”に想定される浸水深等を標識として設置する「まるごとまちごとハザードマップ」の取組を推進しています。このたび、木津川上流河川事務所管内としては、京都府域で初となる浸水深標識を笠置町に設置し、2月5日(水)に除幕式を執り行いました。

- 【日時】 令和7年2月5日(水) 10:00～
- 【場所】 笠置保育所 (京都府相楽郡笠置町有市羽根田 24)
- 【主催】 木津川上流河川事務所、笠置町
- 【出席者】 笠置町長
笠置保育所長
木津川上流河川事務所長



笠置町長コメント



想定最大規模の降雨により木津川が氾濫した場合の浸水深を表示した標識が設置され、紙面上では伝わりにくい情報が日常生活上で視認されやすくなり、笠置保育所の保護者や近隣住民の皆様にも日頃から災害に対する危険意識を高めていただけるのではないかと期待しています。

木津川上流河川事務所長コメント



大雨が降る可能性は日本のどこにでもある、ということを知って頂きたいです。本日の「まるごとまちごとハザードマップ」の取組みが、笠置町にお住まいの皆さまの防災意識の向上の一役に繋がれば幸いです。



パネル展示ブース



【問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
木津川上流河川事務所 流域治水課
TEL 0595-63-1611 (代表)

